

2012年2月1日

「持続可能な発展」「低炭素・低エネルギー」社会 に貢献する新規格（KESステップ^o 2SRとKESステップ^o 2En）

特定非営利活動法人KES環境機構

専務理事・津村 昭夫

TEL. 075-321-4767

「持続可能な発展への貢献」のためのツールとして1996年9月「環境マネジメントシステム（ISO14001）」が発行されましたが、その後「持続不可能な状況」がますます拡大する中で、ISO14001を補完する形で「社会的責任に関する手引（ISO26000）」、「エネルギーマネジメントシステム（ISO50001）」等が発行されています。

KESは、ISO14001が大企業を中心に急速に認証取得件数が増加する一方で、「人・物・金」の経営資源の厳しい中小企業では取組みに際しハードルが高いと言われていることを受け、「シンプル」「廉価」で取組みやすく、さらに「環境経営」「地域との共生」にも対応できる環境マネジメントシステムとして2001年4月にスタートし、現在全国で審査登録組織は約4,000件に広まっています。

しかし、2011年3月11日の「東日本大震災」とそれに伴う「東京電力(株)福島第一原子力発電所」の事故によって、世界の多くの人々が「環境問題への認識」の変化と「エネルギー問題に対する関心」が高まりをみせ、あらためて「持続不可能な状況」が深刻な状態にあることを再認識しました。

このためKESは、下記のように従来のKESステップ2をベースに「持続可能な発展への貢献を最大化」を目的とするISO26000及び「低炭素・低エネルギー社会」の実現に対応するためのISO50001の機能を加味した新規格を発行することとしましたのでお知らせします。

記

1. 新規格：

- (1) KESステップ2SR（ISO26000「社会的責任に関する手引き」
に対応したKESステップ2）
- (2) KESステップ2En（ISO50001「エネルギーマネジメントシステム」
に対応したKESステップ2）

2. スケジュール

- (1) 規格類（案）制定・・・2月
- (2) パイロット事業開始・・・3月
- (3) 審査登録事業・・・・・・・・9月頃

以上

[備考] KESステップ2SR・KESステップ2Enと

ISO14001・ISO26000・ISO50001 の関連：[添付資料]参照